

平成21年9月10日

全国重症心身障害児(者)を守る会

各支部長 様
各運動推進委員 様
各ブロック事務局長 様
法人常任理事会会員 様

全国重症心身障害児(者)を守る会
会長 北浦 雅子

新型インフルエンザワクチン優先接種に関する要望書の提出について

去る9月8日、施設入所及び在宅の重症心身障害児(者)を新型インフルエンザワクチンの優先接種対象者としていただくよう、厚生労働大臣、厚生労働省新型インフルエンザ対策推進本部長、厚生労働省障害保健福祉部長及び同部障害福祉課長に対し、別添のとおり社団法人日本重症児福祉協会江草安彦理事長との連盟で要望書を提出しましたので、情報提供いたします。

本情報につきましては、会員の皆様にも周知して頂きますようお願い申し上げます。
なお、この情報は当会のホームページにも掲載しておりますことを申し添えます。

平成21年9月8日

厚生労働大臣
舩添要一 殿

(社福) 全国重症心身障害児(者)を守る会
会長 北浦雅



(社団) 日本重症児福祉協会
理事長 江草安



要 望 書

平素から重症心身障害児者対策につきましては、格段のご配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび厚生労働省から出された新型インフルエンザワクチン優先接種案では、医療従事者を第1にし、2番目に妊婦や持病がある人があがっています。

私たち重症心身障害児者の親達を中心とした「全国重症心身障害児(者)を守る会」と、命を守り生活を支援する重症心身障害児施設で構成される「日本重症児福祉協会」は、この「持病がある人」の中に重症心身障害児者を含めていただくようお願い致します。

重症心身障害児者は文字通り重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複している重い障害児者ですが、その多くは医療的にも常に密な看護や医療が欠かせない状態にあります。胃瘻などの経管栄養、気管切開、人工呼吸器装着などの超重症児(者)と呼ばれる児者も多数おります。

そのため、児も者も共通した医療と福祉の援助が「重症心身障害児施設」や地域援助の制度として継続して実施されています。

現在、全国で重症心身障害児者の数は、「重症心身障害児施設」「独立行政法人国立病院機構」等に入所している約1万9千名を含め4~5万人とみられています。

重症心身障害児者は常に肺炎等による命の危機に曝されていますが、インフルエンザはその大きな原因になっています。1990年代以降全国の重症心身障害児施設ではインフルエンザワクチン接種を率先して実施しており、在宅生活を送る重症心身障害児

者も医療機関のご協力の下にワクチン接種をしてきました。その結果年々肺炎による死亡を減らすことに成功しております。

しかし現在流行している新型インフルエンザへの抵抗免疫はまったくないため、重症心身障害児者は、再び感染と肺炎、それに続く生命の危機に直面しております。

このような重症心身障害児者の存在を是非ご認識いただき、生命を守る為に重症心身障害児者であれば「持病がある人」に含め、重症心身障害児施設等（すべて病院です。）に入所していればその施設で、在宅生活を送っている場合は診療にあたっている医療機関で、ワクチンの優先接種が可能にして下さるようお願いする次第です。